

京都府高等学校体育連盟主催事業における 新型コロナウイルス感染予防対策【専門部ルール】

専門部名： ラグビー 専門部

策定日： 令和 4 年 4 月 9 日

1、大会開催の専門部独自条件について

- ・ 特記事項なし

2、大会参加条件について

- ・ それぞれの試合の2週間前からの検温記録を義務化する。

3、大会当日の検温における発熱者確認時の対応

- ・ 原則、会場入り口にて検温を実施。37.5℃以上の場合は入場を認めない。

4、大会申込後に出場を辞退する学校（チーム）がでた場合の対応

- ・ 抽選会前に、辞退が決定した場合は、参加申込の取りやめとする。
- ・ 抽選会后（大会期間中を含む）に、辞退が決定した場合は、再抽選はせず、専門部規定に基づく辞退扱いとする。

5、学校（チーム）応援者・観客について

- ・ 本府に緊急事態宣言が発出されている期間内は無観客とする。大会関係者の内、登録外部員と部員の保護者の入場は認められない。各チームの入場可能な人数およびグラウンドで活動できる人数は 6 に示すとおりである。本府が蔓延防止等重点措置実施区域である場合は原則無観客とする。大会関係者の入場制限については、別途定め周知する。各チームのグラウンドで活動できる人数は 6 に示すとおりである。ただし、決勝戦の観客については、関係機関・関係団体と協議の上、別途定め周知する。上記期間以外の観客については、別途定め周知する。大会関係者の入場制限についても別途定め、各チームに周知する。各チームのグラウンドで活動できる人数は 6 に示すとおりである。ただし、決勝戦については、関係機関・関係団体と協議の上、別途定め周知する。ただし、施設管理者の判断による入場制限が別途ある場合はそれに従う。
- ・ 上記以外に、専門部部長または専門部委員長の判断により入場を認める場合がある。

6、専門部独自の感染症対策について

※原則、緊急事態宣言が発出されている、または、蔓延防止等重点措置実施区域に指定されている場合

- ・ 各チームの会場に入場可能な人数およびグラウンドで活動できる人数は、登録メンバー25名、水分補給補助員5名以内、およびボールボーイ3名以内、セーフティアシスタント1名、トレーナー1名、ベンチスタッフ4名、アシスタントレフリーが配置されない試合においてはタッチジャッジ1名、合計39名または40名とする。
- ・ 7人制においては、各チームの会場に入場可能な人数およびグラウンドで活動できる人数は、原則、登録メンバー15名、水分補給補助員3名以内、およびボールボーイ3名以内、（アシスタントレフリーが付かない試合ではタッチジャッジ1名）、SA1名、トレーナー1名、ベンチスタッフ4名のみとする。
- ・ 各チームは教職員から「引率責任者」を選出する。「引率責任者」は自チームの入場者に関する全ての責任を負う。
- ・ 会場に入場する者は大会役員および会場施設係員の指示に従う。会場への入退場ルートと時間を指定する。各チームの入退場者は密にならないようにながら一団となって入退場する。
- ・ 会場は完全入れ替え制とする。
- ・ 全ての入場者はマスクを着用する。グラウンドで活動する生徒については、運動している時または熱中症予防の場合以外は原則マスクを着用する。
- ・ 試合前後は素手でのタッチ・握手を控える。。
- ・ 更衣室は一人2㎡を確保できるように分散更衣を行う。
- ・ 給水については、必ずマイボトルを持参することとし、共有は認めない。
セーフティアシスタントとマッチドクターは感染防止用の手袋と防護服とフェイスシールドを着用する。
- ・ 施設設備の使用後は可能な限り消毒を行う。